

読書活動推進NEWS

読み聞かせと学校図書館司書 ～下郷町立江川小学校～

6月14日(水)に江川小学校を訪問し、長沼千恵さんによる読み聞かせと学校図書館司書業務の様子取材しました。読み聞かせは、絵本を広げながらの形態で始まるのかと思いきや、全く異なる形でした。子供たちの目の前には電子黒板に写された絵が次々に広がり、その傍らには静かな口調で語り続ける長沼さんの姿がありました。子供たちは語りに耳を傾けながら食い入るように画面を見つめ、絵本の世界に引き込まれているようでした。後半は紹介していただいた2冊の本から心に残った1冊を選び、感想交流を行っていました。



電子黒板を活用した読み聞かせ



読み聞かせ後に感想を互いに交流することによって、子供たちの読書の視野が広がっているように感じます。

(図書担当の先生より)

【ようこそ図書室へ コーナー】



最新の情報に更新された案内が掲示されていました。図書担当教員と学校司書が連携して作成し、学校としてのきまりを明確に示しています。

【 図書の配置 】

読み聞かせで紹介した本は目を引くコーナーに展示しています。子供たちの声を聞くと、「ひみつ」シリーズ本は江川小でも特に人気でした。



【 本の修繕 】



学校司書業務の一つに本の修繕があります。「みんな好きで読まれている本だからこそ、こうなってしまふんですね」と優しく語りながら、丁寧に作業をされていました。

長沼さんは、下郷町を中心に学校図書館司書だけでなく図書ボランティアの活動もされている方です。今回の取材を通して、読み聞かせも学校司書活動も担当教員や図書委員会と連携し、様々な工夫を凝らしながら活動に当たられている様子が見られました。校長先生に話を伺うと、「週末も何かと忙しい子供たちですが、図書スペースで立ち止まり本を手に行っている子供たちの姿をよく見かけます。読書環境づくりに貢献していただいていることはとてもありがたいです。」と語っていただきました。